

# コミュニティ・ガバナ ンスの実践のために

政策研究ネットワーク山形

2011.5.7

北川忠明

# 1. 「地域主権」とコミュニティの構築

平成22年度政策研究ネットワーク山形・地域主権部会の検討から

2009.11.17 「地域主権戦略会議」の設置

審議状況を見る限り、分権＝団体自治の推進が主要テーマになっており、分権＝団体自治を支える住民自治の強化の視点は弱い。

- ◎ 「地域主権」が住民自治の強化に結びつくためには、基礎自治体レベルでの自治を支える「近隣自治」の強化が必要.

「近隣自治」：パリッシュ、コミューン、タウン

- ◎ 山形市の動向

平成23年度からコミュニティ・センターへ

将来の「地域分権」の担い手になりうるかどうか問題.

## 2. コミュニティ・ガバナンスの実践から「近隣自治」 へ

- ◎ コミュニティ  
相互扶助＝互酬と連帯感

公と私の間領域における共助の空間

- ◎ コミュニティ・ガバナンス  
地縁組織、NPO、企業、行政との協働による  
「共治」

## ◎ コミュニティの多義性と多様性

- ・ 都市型コミュニティと農村型コミュニティ
- ・ 職住接近型コミュニティと（職住分離）生活中心型コミュニティ
- ・ 地縁型コミュニティとテーマ型コミュニティ

◎ コミュニティ・ガバナンスから近隣自治へ

コミュニティ・ガバナンスの単位（領域性）

・ 小学校区単位が適切

子供を中心としたつながり

昭和の大合併以前の村でもある

伝統の存続

高齢者の重要性

◎ コミュニティ・ガバナンスのツールとしての  
コミュニティ・カルテ

コミュニティ・カルテとは  
コミュニティの健康度と幸福度の診断書

なぜ、カルテをつくるのか

- ・ コミュニティの「今」を知る
- ・ コミュニティの役割を問い直す
- ・ コミュニティの5年後、10年後を考える起点になる

◎ コミュニティ・カルテの諸項目

①人口の状態

高齢者人口、年少人口、独居世帯、単身世帯、  
……

②生活環境

空き店舗、空き家、空き地、……

③安全・安心

防犯、防災、交通安全……

④交流・コミュニケーション

町内会加入率、各種団体加入率、……

⑤地域づくりの資源

景観整備、観光まちづくり、ビジネス等の資源



- ・ 地域住民自身による居住地域のコントロールのツール
- ・ 行政職員の研修にも使える



コミュニティづくりに参加する住民と行政職員との「ストリート・レベル」での協働の基本

- ◎ コミュニティ・カルテからSWOT分析へ  
コミュニティの強みと弱みの分析  
→ガバナンス強化
- ◎ コミュニティ・カルテ作成の課題  
まちづくり協議会・地域振興会の設置が  
問題

地域の特性による様々な課題

- ・ 農村地域型コミュニティ

比較的簡単に協議会が作れる

- ・ 中心市街地地域  
自営業者の減少地域は困難

- ・ 郊外化地域  
新興住宅地域は困難

- ◆ 最後に

都市スプロールから「縮小都市」へ、さらに  
「定常型都市」へ

コミュニティ・ガバナンス実践の好機！